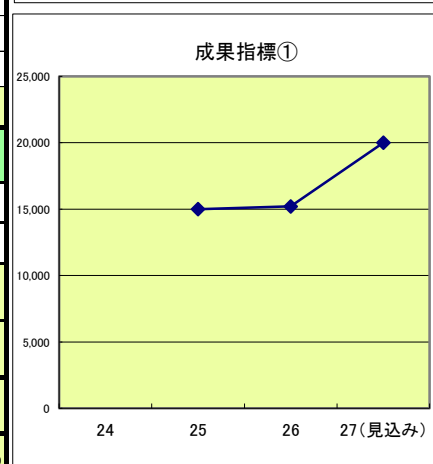
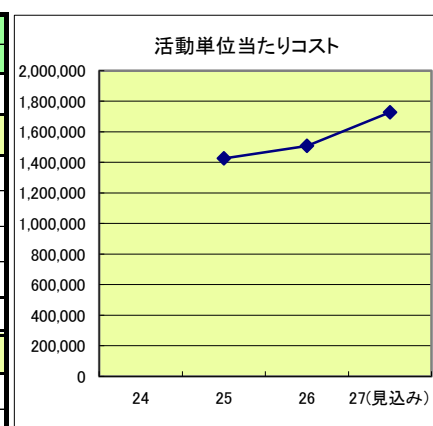


事務事業名			軽トラ市事業		予算科目	会計	1	一般会計	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	4	魅力ある地域社会を拓く活力あるまち			款	7	商工費	
	施策(節)	8	観光振興・都市交流			項	1	商工費	
	施策の方向	(1)	地域資源の活用と観光資源の創出			目	3	観光費	
関連する計画等					事業	5	軽トラ市		
					作成部署	観光課			
					(連絡先)	072 - 958 - 1111 内線 2760			
事業の概要(目的・内容)			地域特産物の消費を拡大するとともに、地域の賑わいを創出するため、駒ヶ谷駅西側公園を中心に、新鮮な野菜や果物、自慢の品物を軽トラックの荷台などに載せて直接販売を行う事業を定期的に開催する。また、羽曳野市マスコットキャラクターの「つぶたん」を積極的に活用し、本市が持つ魅力を効果的にPRするなど、地域資源を最大限に活かした戦略的な事業展開を行う。						
根拠法令等									
事業期間			☐ 10年以上 ☐ 5年以上10年未満 ☒ 5年未満 (平成 25 年度開始)						
事業開始時からの状況変化			駒ヶ谷駅西側公園の定期開催も定着してきており、来場者数が増加してきている。						
実施手法			☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()						
委託先			☐ 市外郭団体委託 名称() ☐ 民間委託		委託内容				
			☐ その他						

区 分	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込み)
事業費【1】 (千円)		1,400	1,062	3,929
人件費【2】 (千円)	0	15,715	21,561	15,074
職員数				
正規職員	人	2.25 人	3.10 人	2.10 人
再任用職員	人	人	人	人
嘱託職員	人	人	人	人
臨時職員・非常勤職員	人	0.10 人	人	人
超過勤務(参考) (時間)	時間	2.00 時間	時間	時間
総事業費(【1】+【2】)【A】 (千円)	0	17,115	22,623	19,003
財源内訳				
国庫支出金 (千円)				
府支出金 (千円)				
市債 (千円)				
その他(使用料・手数料等) (千円)				
一般財源【B】 (千円)	0	17,115	22,623	19,003
活動指標(事業の活動実績)【C】	24年度	25年度	26年度	27年度 (見込み)
① 事業実施回数	回	12	15	11
② 来場者数	人	15,000	15,200	15,000
活動単位当たりコスト (【A】÷【C】①)	円	1,426,250 円	1,508,167 円	1,727,527 円
活動単位当たり一般財源額 (【B】÷【C】①)	円	1,426,250 円	1,508,167 円	1,727,527 円
市民1人当たりコスト (【A】÷人口)	円	147 円	196 円	166 円
一般財源【B】の推移(前年度比)		#DIV/0! %	32.2 %	▲ 16.0 %
※前年度比5%以上変動している要因(該当する場合のみ✓)	☐ 1. 制度改正・事業の見直しなど ☐ 2. 左記1によらない対象件数などの増減 ☐ 3. 物価・賃金水準などの変動 ☐ 4. 国庫支出金など特定財源の増減 ☐ 5. その他()			
※該当項目すべてに✓				



成果指標 (事業の達成度 を測る指標)	指標名		単位	平成24年度		平成25年度	平成26年度		平成27年度
	①	来場者数		目標		20,000	20,000	達成率(%)	20,000
		(式又は説明) 事業への参加者数		実績		15,000	15,200	76.0%	
	②	出店者登録数		目標		50	50	達成率(%)	60
		(式又は説明) 事業への		実績		68	62	124.0%	

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有
						○	○	○	○	

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い（事業の拡充・継続の要望がある、又、活動指標が増加傾向にあるなど）	☒	☐	☐	地域産業の活性化及び資源の発掘、市民等が交流できる環境を創ることにより地域活性化を図る。
		市民ニーズと比較してサービスの対象範囲や水準が適切か	☒	☐	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☐	☐	☒	
		事業を縮小、又は廃止・休止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
	効率性	活動単位あたりコストが適切である（経年比較など）	☒	☐	☐	定期開催場所の駒ヶ谷駅西側公園を中心に、市内各地で開催する出張開催の際には地域の特色を活かすとともに、協力体制の確保を図る。 ※事業費の増加については、H27より「七夕祭」、「はびきのの夕べ」の予算が、政策推進課より観光課に移管されたため増加した。
		使用料・手数料等の受益者負担の割合は適当である	☐	☐	☒	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		国・府の事業や市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
		市の他事業との統合や、事業の簡略化の余地がない	☒	☐	☐	
		民間活力（民間委託、NPO・ボランティアなど）の活用について検討の余地がない（すでに活用しており、拡大の余地はないを含む）	☐	☐	☒	
	協働性	事業の企画や実施にあたり、市民の意見を反映しているか、又、参加、協力が得られているか	☒	☐	☐	市内業者や地元団体などの参加により、賑わいをみせている。
	有効性	成果指標の実績値は目標値以上である	☐	☒	☐	目標値には達していないが、参加者数はわずかながら増加している。今後もさらなる集客を目指す。
	達成度	成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐	僅かではあるが、達成率は上がっている。

担当部局評価	総合評価	
	☐ 継続☒ 改善☐ 縮小☐ 廃止・休止 (概ね現行どおり継続して実施) (実施方法の改善を検討する) (事業規模の縮小を検討する) (廃止・休止を検討する)	
	今後に向けて(取組方針・具体的な改善改革案など)	
	駒ヶ谷駅西側公園での定期開催に加え、市内各地においても軽トラ市を開催することで、市域全体における地域特産物の消費拡大とPRに努めるとともに、地域の賑わいの創出を継続して図っていく。また、出店者が主体となる運用にむけて、来場者の声や意見交換など、情報の共有に努める。	
行革本部評価	総合評価	評価理由・意見
	☐ 継続☐ 改善 ☐ 縮小☐ 廃止・休止	